

第 13 回環境研究シンポジウム
2050 年の地球と暮らし-環境技術と地球規模課題-
の開催について（お知らせ）

（筑波研究学園都市記者会、環境省記者クラブ、文部科学記者会、科学記者会、農政クラブ、農林記者会、農業技術クラブ、林政記者クラブ、水産庁記者クラブ、経済産業記者会、経済産業省新聞記者会ペンクラブ、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会、気象庁記者クラブ、神奈川県庁記者クラブ
同時発表）

平成 27 年 10 月 16 日（金）

環境研究機関連絡会

環境研究を行う国立、国立研究開発法人及び国立大学法人の 13 研究機関から構成される環境研究機関連絡会は、平成 27 年 11 月 10 日（火）、一橋大学一橋講堂（東京都千代田区）において、第 13 回環境研究シンポジウムを開催し、各研究機関における環境研究の成果を広く国民にお知らせします。

今回のシンポジウムでは、『2050 年の地球と暮らし-環境技術と地球規模課題-』をテーマとして、11 件の講演を行います。また、約 100 件のポスター発表によって、各研究機関における環境研究の最新の成果をお伝えします。

多数の皆様のご来場をお待ち申し上げております。

1. 日 時：平成 27 年 11 月 10 日（火） 12：00 ～ 18：00
2. 場 所：一橋大学一橋講堂（学術総合センター内）
〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2 丁目 1 番 2 号
TEL：03-4212-3900
3. プログラム：詳細は別紙参照
4. 参加費：無料
5. 参加登録：参加ご希望の方は、下記のウェブページから登録をお願いします。
<https://www.omc.co.jp/kankyokenkyu/>

6. 環境研究機関連絡会とは

今日発生している様々な環境問題を解決するためには、各専門領域にとどまることなく、これらを含めた総合的視点から、各専門分野の研究を推進する必要があります。

また、環境研究に関する多様なニーズに応え、効果的、効率的な研究を推進していくため、新たな情報交換の場を設け、より一層、連携・協力を緊密にしていくことが不可欠となっています。

そこで、環境研究に携わる国立、国立研究開発法人及び国立大学法人の研究機関が情報交換し、環境研究の連携を緊密にするため、「環境研究機関連絡会」が平成 13 年に設置されました。

連絡会では、

- （1）環境研究の推進状況の紹介と相互理解
- （2）環境研究の主要成果の紹介

(3) 環境研究の協力・連携・連絡などを行っています。

7. 環境研究機関連絡会の参加機関（平成27年10月現在）

国立研究開発法人防災科学技術研究所
国立研究開発法人物質・材料研究機構
国立研究開発法人農業環境技術研究所
国立研究開発法人森林総合研究所
国立研究開発法人水産総合研究センター
国立研究開発法人産業技術総合研究所
国土交通省気象庁気象研究所
国土交通省国土技術政策総合研究所
国立研究開発法人建築研究所
国立研究開発法人港湾空港技術研究所
国立研究開発法人土木研究所
国立研究開発法人国立環境研究所
国立大学法人筑波大学

8. お問い合わせ先：

環境研究機関連絡会 事務局

（国立大学法人筑波大学 研究推進部研究企画課 担当：笹谷）

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

TEL：029-853-2935 FAX：029-853-6011

9. 会場周辺地図：学術総合センター（神保町駅から徒歩3分、竹橋駅から徒歩4分）



プログラム

【講演会】

13：00 開会挨拶 国立大学法人筑波大学 学長補佐（特命：環境）・教授 白岩 善博

13：10 講演1 地域的な気候の変化をどうやって求めるか？（20分）

講演者：国土交通省気象庁気象研究所 環境・応用気象研究部
部長 高藪 出

13：30 講演2 都市気候とエネルギー需要の将来予測（20分）

講演者：国立研究開発法人産業技術総合研究所 環境管理研究部門
大気環境動態評価研究グループ 研究員 高根 雄也

13：50 講演3 沿岸環境予測モデル「伊勢湾シミュレーター」の開発（20分）

講演者：国立研究開発法人港湾空港技術研究所 海洋情報・津波研究領域
海洋環境情報研究チーム チームリーダー 井上 徹教

14：10 講演4 豊かな海を育む藻場 ～実態と回復～（20分）

講演者：国立研究開発法人水産総合研究センター 研究推進部
研究開発コーディネーター 桑原 久実

14：30 講演5 2050年の食料生産変動予測に向けて（20分）

講演者：国立研究開発法人農業環境技術研究所 大気環境研究領域
上席研究員 西森 基貴

（休憩 15分）

15：05 講演6 2050年に向けて環境技術を評価する（20分）

講演者：国立研究開発法人国立環境研究所 社会環境システム研究センター
主任研究員 芦名 秀一

15 : 25 講演 7 住宅・建築物における水利用技術に関する考察 (20 分)

講演者 : 国立研究開発法人建築研究所 環境研究グループ長
山海 敏弘

15 : 45 講演 8 循環型社会の実現を目指したナノセルロース材料利用技術 (20 分)

講演者 : 国立研究開発法人森林総合研究所 バイオマス化学研究領域
研究員 藤澤 秀次

16 : 05 講演 9 頻発する世界の洪水に対する対策 (インダス川を例として) (20 分)

講演者 : 国立研究開発法人土木研究所
水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) 水災害研究グループ
上席研究員 加本 実

16 : 25 講演 10 2050 年の暮らしに向けたインフラストックの機能向上 (20 分)

講演者 : 国土交通省国土技術政策総合研究所 河川研究部
水環境研究官 福濱 方哉

16 : 45 講演 11 水素エネルギーがつくる未来社会 (20 分)

講演者 : 国立大学法人筑波大学 システム情報系 教授 石田 政義

17 : 05 閉会挨拶 国立研究開発法人森林総合研究所 理事長 沢田 治雄

【ポスター発表】

○ 展示時間 12 : 00 ~ 18 : 00

○ 発表時間 12 : 00 ~ 12 : 45、17 : 15 ~ 18 : 00